

**当院職員および入院患者さんの新型コロナウイルス感染症の発生について（第1報）**

2022年2月10日、国立国際医療研究センター病院の同一病棟で、職員4名および入院患者さん8名の合計12名が、新型コロナウイルスに感染していたことが確認されました。

**1. 新型コロナウイルスの感染が同一病棟で確認された職員（4名）・患者さん（8名）について**

- 看護師（病棟業務；4名）
- 患者さん（当該病棟に入院；8名）

《これまでの経過》

- ① 2月9日に病棟勤務の看護師1名が咽頭痛を訴えたため、直ちに当センターでPCR検査を実施したところ、新型コロナウイルス感染が確認されました。  
これを受けて、同日（2月9日）に当該看護師の受け持ちを含む感染リスクの高い患者さん10名にPCR検査を実施したところ、新たに患者さん3名の新型コロナウイルス感染が確認されました。
- ② 上記①を受けて、2月10日に当該病棟勤務の看護師全員（32名）、当該病棟勤務の医師10名、当該病棟に入院する患者さん全員（30名；2月9日にPCR検査を実施した10名をのぞく）にPCR検査を実施したところ、新たに看護師3名、患者さん5名の新型コロナウイルス感染が確認されました。

新型コロナウイルス感染が確認された当該看護師4名は、新型コロナウイルス感染症の対応には従事しておらず、勤務中は常にサージカルマスクを装着し、手指衛生を行っていました。

当該看護師4名、入院患者さん8名が関係した施設・設備については、消毒作業を実施済みです。

《症状》

看護師4名、入院患者さん8名の12名全員が、軽症です。

《現在の状況》

看護師4名は自宅待機中。

入院患者さん8名については、当院の新型コロナウイルス感染症対応病棟に移動して治療中。

**2. 今後のPCR検査の実施について**

- 当該病棟に勤務する医師・病棟薬剤師等について、順次PCR検査を実施します。

**3. 今後の診療体制について**

- 入院診療について

看護師4名、入院患者さん8名の合計12名の新型コロナウイルス感染が確認された当該病棟については、新規入院および転入・転出を中止しています。

- 外来診療について

今般の新型コロナウイルスの感染急拡大に伴い、1月19日から一部の診療を縮小しています。

#### 4. その他

本件についてはすでに保健所に報告しており、保健所の指示のもとに対応いたします。感染拡大防止に努めるとともに、職員全員に感染対策の周知徹底を図ってまいります。今後の状況については、ホームページ等で随時お知らせする予定です。

##### ◎患者さんからのお問い合わせ先（平日 9時から 17時まで）

国立国際医療研究センター 総務課 総務係  
03-3202-7181（代表）

##### ◎報道関係からのお問い合わせ先（平日 9時から 17時まで）

国立国際医療研究センター 広報企画室 広報係  
03-3202-7181（代表）  
press@hosp.ncgm.go.jp